

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	文書理解 I (GB)		(TGB127)
講義名（コード）	TGB_文書理解 I _B		(TGB127B)
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	グローバルビジネスコース	単位数	2
授業担当者	竹内 通子	時間数	30
成績評価教員	竹内 通子	講義期間	春学期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	日本語を使ったビジネスを行う上で十分な日本語力を養い、日本語能力試験N2の取得を目指す。
全体の内容と概要	N2の文字語彙文法を中心に学ぶ。試験形式と同様の4択問題を使い資格試験の対策をしっかりと行う。試験形式とは異なるが、語彙を書かせる問題にも取り組みしっかりとした定着を目指す。
授業時間外の学修	授業で学んだ語彙、漢字を復習しておくこと。
履修上の注意事項等	学生の希望等によりスケジュールは変更する場合がある。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	読解の基礎を身に付ける	ガイダンス(年間授業スケジュール、到達目標) 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step1 Level1 ウォームアップ①
2	読解の基礎を身に付ける	パワードリル文字語彙N2 第1回 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step1 Level1 ウォームアップ②
3	読解の基礎を身に付ける	パワードリル文字語彙N2 第2回 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step1 Level1 ウォームアップ③
4	読解の基礎を身に付ける	パワードリル文字語彙N2 第3回 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step1 Level1 ウォームアップ④
5	読解の基礎を身に付ける	パワードリル文字語彙N2 第4回 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step1 Level1 ウォームアップ⑤
6	読解の基礎を身に付ける	パワードリル文字語彙N2 第5回 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step1 Level1 ウォームアップ⑥
7	JLPTN2の問題形式に慣れる	JLPT模試 N2 読解&解説
8	JLPTN2の問題形式に慣れる	JLPT模試 N2 読解&解説
9	語彙から内容理解できる	パワードリル文字語彙N2 集中トレーニング① 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step1 Level2 2 練習問題 1 日目
10	語彙からば内容理解できる	パワードリル文字語彙N2 集中トレーニング② 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step1 Level2 練習問題 2 日目
11	語彙から内容理解できる	パワードリル文字語彙N2 第6回 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step1 Level2 練習問題 3 日目
12	語彙・グラフでの内容理解できる	パワードリル文字語彙N2 第7回 必ずできる！JLPT「読解」N2 Step1 Level2 練習問題 4 日目
13	期末試験	期末試験
14	期末試験解説	期末試験解説
15	【課題】	春学期の復習

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	必ずできる！JLPT「読解」N2 パワードリルN2 文字語彙
参考文献・資料等	適宜配布
備考	